

1779

強制休業は何處の工場でもやつてゐるの  
 の動搖が起り紛議やストライキが持  
 つてゐる、俺達のストライキと原  
 因はみんな似たりよつたりだ、みんな  
 労働者を犠牲にして産業合理化をやる  
 結果なんだ、産業合理化、地獄が果て  
 る異の同首だみんな「産業合理化」を粉砕  
 しろと絶叫してゐるんだ、同じ敵を直指し  
 てゐるストライキだ、労働者だつてお互  
 に応援し合はなれぬものか。  
 働てる工場労働者からも續々と原  
 則を破る者が集つて来てゐるが、味  
 ドストライキや才学してゐる労働者同志  
 は最も熱烈な応援を仰ぐならぬし、亦現  
 在に續いてゐる、昨日も尾谷の東京鋼  
 板争議団（大工）程陽田川会同（ガレキ船）  
 へ主人程我の争議団から出かけて大に  
 激励して来たが皆みな喜ぶ今度には

東京ワイルも動搖してゐるぞ。  
 東京ワイルは八月の上旬期から一勘定に十斤から十五  
 月レ債銀を拂はねた後は猶バードしてゐる  
 一トも懸念がせぬ債銀が流れたらなると、労働  
 者は能く承知するたが、労働者がかりに創北人を合  
 社の儲けが好むと承知して後本気が腹だ、  
 かねて東京ワイルの兄弟達も生きるか死ぬか  
 戸がけだ、即時に不拂の債銀を天拂へ、債金は  
 十五日毎に開運せしめ、首切、債銀値下、強制休  
 業、絶材次第と叫ぶ血を流さなければならぬ会社を後  
 輩が叩きやうと、よくよく相談中だ、まあストライ  
 キだ、東京ワイルの兄弟を全力をこめて応援し  
 救書七よ二止。  
 争議日報は争議団員が書いた、みんなつらな  
 事でも争議団員が救書の流石さうの事から、希  
 望も不平を並べたつよ二止。  
 班長は出来たが困員ト言ふすまらさう、  
 下手は承知の上だ。

秘策三五・八號  
 昭和五年十月六日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達謙藏 殿  
 社會局長 官 殿  
 各廳府縣長官 殿

大藏省 大政 神谷川  
 文部省 文部 神谷川  
 農林省 農林 神谷川

株式会社大島製鋼所労働争議ニ関スル件 (第二十報)

要旨 (1) 會社側ニテハ争議團ノ動靜儘ニ讓歩ニ懈せず大島所長ニ依頼セリ  
 (2) 争議團ニ於テハ團員ノ結束ニ地方大川社長岡村會社ヲ團結的ニ攻撃スルヲ以テ若行  
 シテアリ

(3) 大島所長、調停ハホク具体化スルニ至ラス

題記 争議ニ関シ前報後、状況左記ノ通

記